

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同各地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



定部金貳錢 廣五號十二 料(字)一十行 日(祝)日 刊(祝)日 價一ヶ月貳錢 廣五號十二 料(字)一十行 日(祝)日 刊(祝)日 價一ヶ月貳錢 廣五號十二 料(字)一十行 日(祝)日 刊(祝)日

九月十一日夕刊

滿蒙經營の基調
山本条太郎 (五)

常盤論壇

而して此の滿洲の鐵は經濟上歐米列國の生産費に比較して餘り遜色なきのみならず、今後設備の改良を加ふれば世界何れの國とも競争し得る程度に生産し得るのである。鐵が斯く滿洲の供給に依り自給自足し得るといふことは、日本として非常に重大なる問題として考へて宜からうと思ひます。

現在日本が外國から輸入する鐵は、約百二十萬噸

(價格一億二千萬圓)であり、此の鐵だけは少くとも外國より輸入せざるに日本内地若くは滿洲から供給するの途を購すること、産業立國即輸入防遏の第一歩の要件でありはせぬかと考へ、現在二十萬噸生産の鐵を四十萬噸に増加するの計畫を樹て、將來更に擴張増産を計り、ひとり鐵のみにならず鋼鐵をも生産する希望を以て居ります。

日本の關稅政策其他の關係の調節が都合よく行くなれば數年ならずして日本は歐米から鐵の輸入を見ることがなくして自給自足し、我製鐵政策の根本を確立すると

いふ理想を實現し得るものと信ずるのであります。

第二オイルセル第三の計畫はオイルセルであり、撫順炭山の炭層の上を蔽ふてある一種の岩がある名付けて油岩と稱してゐます。此の油岩が今日までの實測によりますと五十二億噸存在してゐる、此の油岩には百分の六内外の油を含んでゐるので、此の油を經濟的に採るといふことが多年研究を續けて來たのであります。



夏服
種々取揃へました
大勉強いたしました
小供洋服は意圖より其他特別格安もの多數是非御出下さい

十字屋洋服店
平停車場前通り

美味 評判 **イロキ食堂**
平町紺屋町(縣社通り)
オの部電話四六〇番

たしりわんふ
の本松きよ味風
れ上し召をンバ

ビ甘スク松ミバブレ食
ーナ食ネー本 ツンラモバ
ツケバーバ
ーキンクンソズムン

一斤十六錢
五錢

目丁四町平
ヤトモツマ
番四一二話電

科外門專
醫院開始

花内外
柳臟科
病外一
科科般

診察時間 午前八時より午後九時まで
但し急患は此の限にありません

安齋外科醫院
平町町大通り電話四三六番

町平紺屋町青田眼科醫院

洋食部開業

一流のコック二名東京より來着
原料は特に精選吟味
やぶそばと同様多少に不拘御用命を乞ふ
食堂完備...配達迅速

平町新田町 (電話一四一番)
やぶ洋食部

◇開公大遂編名の待期御◇

大空中戰

血涙悲壯

◇巴拉マウント社本年度超特作映畫
◇主演者 クララポウ嬢
チャールスロチャース氏

陸軍省 海軍省 文部省... 推賞激讚

全編悉く熱と力をもつて貫かれ血と涙をもつて彩らるゝ一大文字を見ずして何人か遂に映畫を語るを許されん...

一死國難に殉ずる熱血男兒、戀をいけにへに奮闘する美少女、戰禍を地上より拂はんとする偉大! 精神脈々たる大傑作...

吉川英治原作
報知新聞連載

第三回 **江戸三國志**

全國協定打破... 入場料
特 に 普通
十三日より
土日曜學生デー

高級 常設

電四六六

株式募集要項

資本金總額 金貳百萬圓
壹式ノ金額 五拾萬圓

募集株式數一萬株
申込株式單位 貳株以上

申込期間 昭和三年七月廿五日ヨリ九月十日迄
申込證據金 (第一回拂込金ニ充當) 各一株ニ付金拾貳圓五十錢

第一回拂込日 昭和三年十月十五日迄
拂込ノ方法 後記ノ通り銀行及會社

募入決定方法 應募株式ガ應募株式ニ起テ過シタ場合ハ發起人ニ於テ適宜處定ス

片倉磐城製糸株式會社
創立委員長 片倉兼太郎
發起人 一同

申込取扱所及拂込個所
株式會社 福島縣農工銀行平支店
株式會社 平銀行本支店出張所
東京 片倉製糸紡績株式會社
郡山市 同社岩代製糸所

定款目論見書株式申込用紙ハ取扱所又ハ創立事務所ニアリ
創立事務所 (元郡役所内)
石城郡養蠶同業組合事務所

理由のない…… 白米の値上

期正米追隨は甚だ失當 僅か一ヶ月で五錢騰貴 相當考慮を要す

期米市場の人為的變動これに伴ふ正米相場は推移はやかたて原誘田の排除と共に順當なる取引に立ち返るのであらうがために白米小賣値段まで

急激なる 昂騰ぶり
を告げることは日用必需品の首位に存するだけ一般の大いに留意する所である、白米相場は正米の取引値段に直接の關係を有するものは勿論とするもその事情は期米に牽制される正米のそれは自ら趣きを異にするのだから止むを得ざる

採算上の 場合は致し方なきも正米の動きそのまゝを反映して直ちに引上げを行ふことは社會政策の上からも面白からぬ次第である、平町の白米小賣値段は一升當りにすると僅々一ヶ月間に三十一錢より三十錢まで昂騰したものでその差五錢で近來の激變なりといふべきである、期米の奔騰が

正當なる 理由のみにて實行されたとすれば白米値段の異常なる推移も亦やむを得ないのであらう、けれど米作の豫想にしても政府所有米の數量よりする

本縣の 秋刀魚出漁

茨城縣と協定
茨城、福島兩縣の秋刀魚出漁期に就いての漁業組合長會議は八日茨城縣水産試験場で開き縣水産當時者組合長等四十餘名出席し秋刀魚は十月十日ごろから適當であるが本年は特に本月廿九日以後といふことを申合せて散會した

平町では
藝妓の檢査
平町は縣下で一番花柳界が發達してゐる所だけ九月一日から實施された花柳病

血液の檢査

家庭の智識
▲簡單な消毒法 手の消毒法は千倍の昇こう水で洗



家庭の智識

御コ渡御に團旗林立

昨日子鍛倉祭禮の盛觀
平町縣社子鍛倉神社の御輿渡御は昨日午前八時半から紺屋町より本町を振り出しに全町に亘つて行はれたが平町青年團を始め各分團旗林立供奉して非常な壯觀を呈し更に可憐なる稚兒警固及び鎌田藝妓の手古舞姿等美々しく人の眼をひき鎌田青年分團の奉仕に依る御輿は渡御の途次各町分團の應援華々しく近年稀な賑ひにて午後七時無事歸還し馬目青年團長の音頭にて萬歳を三唱終了を告げた

木炭檢俵

濱三郡の
七月より減少
濱三郡木炭同業組合に於ける去八月中の檢俵は石城四〇三七八双葉二五四五七相馬一一一六七の合計七萬七千二百七十四俵を減じ本年四月から八月迄の總數六十三萬二千五百五十九俵も前年同期に比べて七千九百九十俵を減少してゐる原因は降雨続きによる搬出難の爲で生産減ではないが價格は

品名記入欄

鐵道荷札に
從來鐵道手荷物の荷札は品名其他重要事項を記入する欄がなく取扱上少なからず不便を感じてゐたが今回品名個數等を記入し得るやう荷札をつくり来る十六日より一ヶ月間實施すべく東京鐵道局で發表したが平驛では荷主間に改正形を勵行實施するやう近く大宣傳をなすよし

石城の梨産額

石城九箇所より成る果樹組合の昨年に於ける梨の産額は五十四萬二千貫價格十六萬二千圓三年前の二十三萬貫に比較すると三十一萬餘貫の激増を來してゐる若しこの分を進めば五年後には百五十萬貫に達する見込みであるに要する袋は九百七十五萬枚に上り其他肥料害虫驅除劑等は個人購入による方が利便多いので七日協議會を開いた結果聯合組合會を組織することに決し十月中旬右聯合會を組織する

磐銀の開業

特融如何で
期日が決定
磐城銀行整理案につき同行支配人草野順平氏は過般上京大藏省日銀等に出頭し單獨整理につき極力折衝をなし此程歸平したが同氏は語る

石城の稲作

一割減は免れぬ
石城郡地方の稻熱病は屢報の如く郡内一般に蔓延し全被害面積は約三百町歩と言はれ殊に小名濱方部は收穫半減の状態となり善後策を講じてゐるが今後天候が如何に快晴になつたとしても平年作の一割減收は免れまいと石城郡農會では語つてゐるが縣農務課古賀技師は八日來郡石城郡駐在神尾技師と共に郡内稻熱病の被害状況を調査中

公金廿萬圓

石城郡下の資金
磐城銀行の預金について石城郡町村會では前後數回にわたり對策を協議したが更に過般平町に開いた町村公金預金委員會より各種團體の預金調査をなすことになつてこれが調査終了後に於て對策を講ずる筈であるが

地方民の猛運動で 實現の可能性充分

平小鐵道豫定線變更に就き
木村代議士語る
昭和六年度から着手するとなつた平、小鐵道敷設につき地方民は豫定線を變更しもらひたいと熱望し木村代議士は

關係民 とともに上京運動を開始したが右豫定線變更は從來平、小名濱間直通にするのを片濱、飯野高久、豊間、江名を通つて小名濱町に通ずるやう敷設されたいといふのであるが小名濱直通線では何等地方

萬難を 排してこれ
が實現に猛運動するはずであるこれについて主務省に向つて運動中の木村代議士は語る

中、小鐵道の豫定線變更は充分可能性はあるが沿道民の運動如何による當局は平、小名濱間直通にする豫定だがこれでは地方開發に少しも考慮しないものである然しこれはさきに認可となつた片濱軌道敷設が廢となつたも

不景氣のため昨年より通じて一割安で地元驛取引目下左記の相場を唱へてゐる
雜割(四貫目俵)一俵九五錢、同九一〇五錢▲奈良割(四貫五百目俵)一俵一〇〇錢同九一二〇錢▲一俵一〇〇錢(四貫五百目俵)一俵一二五錢同九一四五錢